

# 学校・家庭・地域が連携して、「夢育」の推進を!

「夢育」は、家庭教育はもちろんのこと、学校教育や社会教育においても互いに連携を図りながら進めるものであり、就学前から始まり生涯を通じて継続していくものです。学校や地域には、子どもたちが夢を育む「体験の場」がたくさんあります。



学校

地域



## 各種コンテストへの挑戦 (「サイエンスチャレンジ岡山」)

高校生がチームを結成し、科学の甲子園を目指して科学の難問に挑戦しています。



## 企業と連携した商品開発 (県立倉敷琴浦高等支援学校)

企業の方のアドバイスを基に商品の企画・製作・販売までを一貫して行っています。



## 地元企業による就職支援

(「ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～」)

地域の企業の採用担当者との面談を通して、働く意義や自分の良さに気付いています。



## 授業における1人1台端末の導入 (県立倉敷天城中学校)

PCやタブレット端末の活用を通して、学習の個別最適化を進めています。



## 企業と連携した商品開発 (県立岡山南高等学校)

岡山名物を詰め込んだ駅弁「岡山名物大集合」は、人気商品となっています。



## 「中学生だっぴ」 (高梁市)

中学生が大学生を介して地域の大人と語り合い、視野を広げ考えを深めています。



## 総合的な学習の時間における プログラミング教育の導入 (奈義町立奈義小学校)

地域探究活動にプログラミング的な思考を取り入れて進めています。



## 職場体験 (県立津山中学校)

職場の雰囲気を感じ、体を動かすことが職業観・勤労観の育成につながります。



## 「未来商店街」 (久米南町)

中高生を中心とした実行委員会が地域団体等と連携し、旧商店街の活性化を図ります。



## 外国との遠隔交流授業 (和気町立本荘小学校)

ICT機器を活用して外国の学校とやり取りを行い、より実践的な授業にしています。



## 仕事体験 (玉野市立荘内小学校)

機器に触れ、プロのお話を直接聞くことで、体験がより充実したものになります。



## 「きつず☆ユニバ」 (県生涯学習センター)

県立の8つの施設での出会い・発見・感動を通して、学ぶ楽しさを味わいます。

※上記の各写真は、新型コロナウイルス感染症の拡大以前に実施した事業等で撮影したものを含まれます。現在は、各学校や各事業等において、マスクの着用や人との距離を保つといった「新しい生活様式」を実践し、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期した上で活動しています。

# 「夢育」を推進し、子どもたちが「なりたい自分」に!

「夢育」は「You Make... (なりたい自分にきつとなる)」です。「なりたい自分」になろうと挑戦する子どもが育つ岡山を目指して、子どもたちに寄り添いながら、一緒に応援していきましょう。

